

4 分析結果の概要（詳細分析は、6「問題別の考察及び指導上の留意点」に掲載）

ここでは、平成26年度学力調査結果に見られる新入学生徒の学力の傾向を項目ごとにまとめた。

(1) 語彙力（【1】発音問題 正答率46.9% 【2】語彙問題 正答率47.9%）

ア -ou- をつづりに含む単語(cousin, mouth など)や、-a- をつづりに含む単語(anything, dangerous など)において、短母音と二重母音の区別ができていない。

イ 教科書で繰り返し使われており、なじみのある語(answer, weather など)であっても、正確なつづりを書くことができない。

(2) 文法の知識（【3】文法・語法問題 正答率55.7% 【4】文法・表現問題 正答率42.9%）

ア would you like to を用いて相手の意向などを尋ねる表現はよく定着している。一方、接続詞 though などの意味や用法の理解は十分ではない。

イ 文法的な知識（疑問詞+to 不定詞など）を活用して多様な表現をすることができない。

(3) 口語表現（【5】口語表現問題 正答率45.8%）

問いかげや依頼の場面において、Can I ~ ? / Can you ~ ? / Could you ~ ? / May I ~ ? 等の表現を適切に用いることができない。

(4) 表現力（【6】整序・作文問題 正答率55.2%）

enjoy+動名詞を用いた表現や、不定詞の形容詞的用法を用いた表現はできるようである。しかし、主語における後置修飾（接触節）の用法が定着しておらず、The book he bought last year is very popular.といった表現ができない。

(5) 読解力（【7】長文読解問題 正答率51.2%）

複数の登場人物の行動や心情を整理しながら、物語の展開を正しく捉えることが十分にはでき

ていない。

(6) 聞き取りの力 (【8】聞き取り問題 正答率 59.1%)

夏休みの計画についての会話を題材とした。会話の概要は理解できているが、情報を断片的に捉えてしまい、順を追って正確に聞き取ることができていない。